

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和元年 6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト縮減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
9	<p>(事業名・地区) 急傾斜地崩壊対策 扇町地区</p> <p>(事業位置) 鹿足郡津和野町日原</p> <p>(事業費) 461,000 千円</p> <p>(事業概要) 事業目的:急傾斜地崩壊の防止 主要工種:待受擁壁・落石防護柵</p> <p>(事業主体の根拠) 急傾斜地の崩壊による被害の防止に関する法律第12条</p> <p>(再評価区分) ②事業採択後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部砂防課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度:平成22年度 用地着手年度:平成24年度 工事着手年度:平成25年度 完了予定年度:令和7年度 経過年数:11年 (進捗状況と今後の見込み) 進捗率:30.5% 工事:16.2%</p> <p>実施にあたり、以下の理由から事業が長期間に及んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査・設計(H22~H23)、用地調査(H24)を完了し、平成25年度に用地買収に着手し、落石対策を実施した。</li> <li>平成26年度は平成25年7月豪雨の災害復旧工事を最優先としたため、事業を行わなかった。</li> <li>平成27年度、平成28年度には斜面下の擁壁工の工事を発注したが、平成25年7月豪雨の災害復旧工事を最優先としたこともあり、工事の受注者が決まらなかった。(不落札となった。)</li> <li>平成29年度から擁壁工の整備を開始。今後、用地買収、擁壁工の工事を順次行い、令和7年度に事業完了する計画である。</li> </ul>	<p>(事業導入の経緯・目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業地は急峻な斜面が人家の背後に近接しており、斜面には多くの崩壊跡や不安定な状態の転石が確認できる状況である。平成15年には転石が人家背後に落下した。</li> <li>豪雨時等には斜面崩壊により下方の人家や地域の生活道路である市道などに被害が及ぶ恐れがある。</li> <li>このため、早期に斜面対策を実施し、住民の安全・安心を確保する必要がある。</li> </ul> <p>(事業を取り巻く社会情勢)</p> <p>当地区は、がけ高89m、勾配45°の急傾斜地である。保全対象には、人家58戸の他避難経路である町道日原青原1号線などがあり、事業の必要性が高い。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度)</p> <p>当地区には、多くの人家や地域の生活道路である市道があり、地元住民は対策工事の早期完成を要望している。</p>	<p>(費用対効果) b/c=6.69</p> <p>(コスト縮減・代替案等) 経済的で確実な工法により対策を実施する。また、工事にあたっては再生資材の利用により、コスト縮減を図る。</p> <p>(その他の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インフラ機能の保全(市道)</li> <li>地域における人口減少の歯止め</li> <li>土砂災害に対する地域住民の不安の軽減</li> </ul>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 急勾配の斜面下に擁壁と落石防護柵を整備するものであるため、事業による影響はほとんどない。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 豪雨が発生した場合、斜面の崩壊や落石の危険があり、下方人家や地域の生活道路である市道に甚大な被害が発生する可能性がある。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続・中止の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業箇所は急峻な斜面に不安定な状態の転石が多く確認できる状況であり、豪雨時等には斜面崩壊により下方の人家や地域の生活道路である市道などに被害が及ぶ恐れがある。</li> <li>この地区における住民の安全・安心を確保するためにも、急傾斜地崩壊対策事業の継続が必要である。</li> </ul>



おおぎまち  
**扇町地区 急傾斜地崩壊対策事業**  
**(鹿足郡津和野町日原)**

①斜面の崩壊状況



②斜面に存在する転石

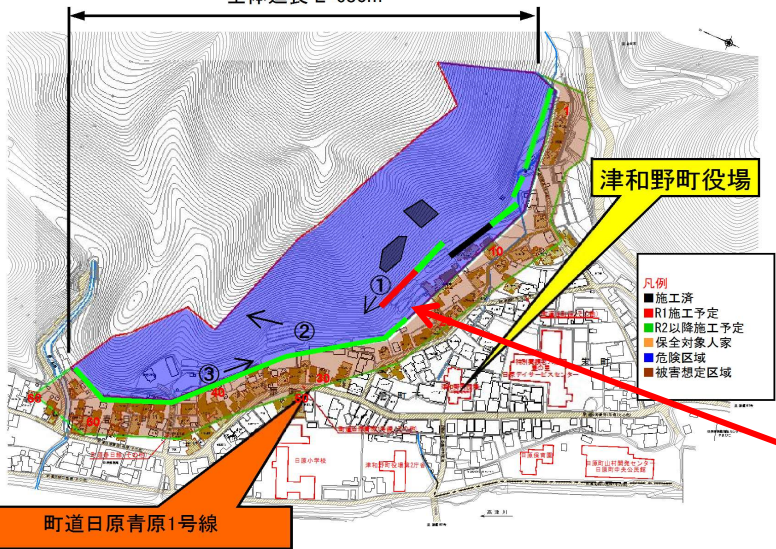


③H15落石発生(直径1m)



**平面図**

全体延長 L=680m

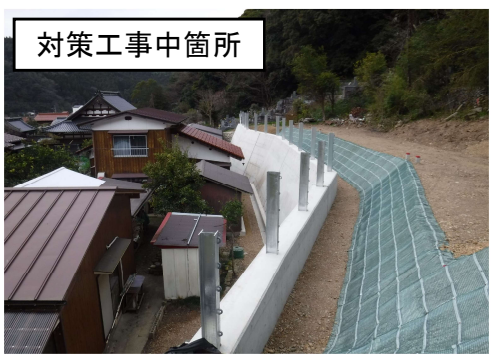


**全景写真**

全体延長 L=680m



**対策工事中箇所**



## 急傾斜地崩壊対策事業対象区域の費用便益分析結果

都道府県名	島根県	便益総和:	B=	2,469	(百万円)
箇所名	扇町地区	費用:	C=	369	(百万円)
		B/C	=	6.69	

### 1) 年平均便益算出表

降雨確率	年平均発生確率	被害額	区間平均発生確率	区間平均被害額 (百万円)	年平均被害額 (百万円)
1/10	0.10	1036.71			
1/50	0.02	2060.30	0.08	1548.50	123.88
年平均便益					123.88

### 2) 便益および費用の総和算出結果

事業投資年数	12
--------	----

8

	経過年数	割引率= 4%		年便益(b) 123.88
		年次事業投資費用 (単位:百万円)	年費用(c) (単位:百万円)	
H22事業開始	-8	12	17.922	0.000
	-7	11	15.575	4.714
	-6	23	31.567	8.687
	-5		0.000	16.706
	-4		0.000	16.064
	-3		0.000	15.446
	-2		0.000	14.852
	-1	30	31.200	14.281
H30評価年度	1	35	35.000	8.955
	2	30	28.846	18.657
	3	50	46.228	26.219
	4	75	66.675	38.479
	5	90	76.932	56.136
	6	65	53.425	76.059
	7	20	15.806	88.468
事業完了	8	20	15.198	89.602
	9		0.000	90.518
	10			87.037
	11			83.689
	12			80.470
	13			77.375
	14			74.399
	15			71.538
	16			68.786
	17			66.141
	18			63.597
	19			61.151
	20			58.799
	21			56.537
	22			54.363
	23			52.272
	24			50.262
	25			48.328
	26			46.470
	27			44.682
	28			42.964
	29			41.311
	30			39.722
	31			38.195
	32			36.726
	33			35.313
	34			33.955
	35			32.649
	36			31.393
	37			30.186
	38			29.025
	39			27.908
	40			26.835
	41			25.803
	42			24.811
	43			23.856
	44			22.939
	45			22.056
	46			21.208
	47			20.392
	48			19.608
	49			18.854
	50			18.129
	51			17.432
	52			16.761
	53			16.116
	54			15.497
	55			14.901
	56			14.327
	57			13.776
評価対象終了	58			13.247
	59			12.737
		415	369.311	2469.462